

子ども達の未来に寄り添ってみませんか...



会報 第4号

発行日 2022(令和4)年 8月 31日
社会福祉法人岩手愛児会内「杏の会」事務局
〒020-0102
岩手県盛岡市上田字松屋敷 11 番地 14
TEL:019-662-5696 / FAX:019-662-5695



四十四田ダムからの岩手山

(撮影者:米沢俊一)

「杏の会」も手間ひまをかけて

杏の会 理事 村上 武男



8月9日(日本時間10日)、大谷翔平選手が「2けたの勝利・本塁打」の快挙を成し遂げ、岩手・全国でベーブルース以来の104年ぶりの偉業を讃えました。

私は、その日に古希を迎えました。中国・唐の杜甫が詠んだ詩「人生七十古来稀なり」に由来します。現代の超高齢化社会には、当てはまらないと思いません。しかし、私の家系は母、父、弟とも50,60代で亡くなっているのです。今回は「その追悼と感謝」の思い入れもひとしおでした。

7月頃から、小学3年の孫が小川釣りにハマり、オイカワなどの小魚を釣り上げていました。翌日に「ジジ、ブラックバスの釣れる所に連れて行って」と懇願され、雨天の四十四田ダム(南部片富士湖)へ向かいました。青松支援学校前の路を通り、三高ボート部小屋下の水辺に着きました。「ジジ、バスはここで釣れるの?」「すぐには釣れないよ。手間ひまかけないとね。」「えっ?手間ひま?」一瞬、走馬灯のように、在職中、学園の子ども達とよく釣りに来た

事が次々と浮かんできました。『手間ひまかけると、「楽しい体験ができること」「おいしい料理ができること」「美しい花が咲くこと」そして「信頼関係や子育てができること」等々』、この年齢になって、改めて実感しながら生活しています。

後援会「杏の会」の今後の活動や運営も「手間ひまを!ちょっとは、お金と愛も!」と、気にかけて、みんなで発展させて行きましょう。



会員入会状況

〈7月31日現在〉

総会員数	269件
R4.1月以降	26件

※皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。杏の会事務局までメール又はFAXをいただければ幸いです。

子どもは未来もりおかこどもクリニックへ寄付をいたしました!!

この度、社会福祉法人岩手愛児会の行う児童心理援助・治療センター事業の支援として、「箱庭療法用具一式(心理療法用具、230,000円相当)」が山口会長および臼井副会長から、米沢院長に寄贈されました。

「今後も引き続きセンターの事業活動には積極的に貢献していきたい」と語りました。

会員の方々のお力が
子どもたちの元気と安心を創造します!!



※左から、臼井由紀子副会長、山口淑子会長、米沢俊一院長

◇岩手愛児会活動報告

○第47回種市転住



今年は3年ぶりに、「第47回種市転住」を1泊2日(7/24~7/25)で実施し、子どもたちは「海上花火大会」を間近で見たり、「B&G」でカヌーやバナナボートを体験し満喫しました。

○令和4年度学校教育相談 夏季研修会



8月9日、こもりうたホールにて「令和4年度学校教育相談夏季研修会」をオンラインで開催。講師に元岩手放送アナウンサーの後藤のりこ氏をお迎えし、ワークショップも交えながら面接会話技法について学びました。

○PCR 検査機器の導入



子どもは未来もりおかこどもクリニックでは、令和4年2月にPCR検査機器を導入し、検査を実施しています。

社会福祉法人 岩手愛児会
後援会 杏の会 事務局

E-mail:
annzunokai@gmail.com

子ども達の未来に
寄り添ってみませんか…



Web サイト
URL:
<https://www.ajji.or.jp/publics/index/94/>

第7・8回 杏の会理事会のご報告について

第7回 令和4年1月29日(土) 13時30分～ 場所:こもりうたホール

《議題》

- (1) 会員加入状況について
- (2) 社会福祉法人岩手愛児会に対する賛助について
- (3) 来年度の事業活動計画について
- (4) その他

《議事概要》

◇令和3年4月以降の新規加入者78名を加えた、延べ246名(1月27日現在)の会員登録者状況についての報告

◇岩手愛児会に対する具体的賛助として「児童心理援助・治療センター」事業を優先に支援していただく旨の決定

◇来年度の事業活動計画推進に向けての会員拡充

第8回 令和4年6月25日(土) 14時30分～ 場所:こもりうたホール

《議題》

- (1) 令和3年度活動報告および収支決算について
- (2) 会員加入状況について
- (3) 令和4年度事業活動計画について
- (4) その他

《議事概要》

◇岩手愛児会の「イーハトーブみらいのこども広場」事業計画に対して、具体的な支援について協議

◇任期(令和2年8月6日~令和4年8月5日)満了に伴う役員改選について、現理事・監事の方々には就任依頼書による手続きを以て、役員継続依頼を行う旨の決定

尚、令和4年度の総会は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止により代替開催として、理事会での協議内容等については、会員の皆様方には書面での報告といたします。

内容について、ご意見ご質問等がございましたらお聞かせ下さい。

公開シンポジウム開催について

子どもは未来もりおかこどもクリニック 院長 米沢俊一

現在、岩手愛児会では子どもは未来もりおかこどもクリニック(コミュニティ小児医療)、みどり学園(虐待相談、里親支援)、ことりさわ学園(不登校児童支援)の外來事業を一つにまとめて、医療・福祉・教育連携をもとに、困っている子ども達、家族、学校からの相談をワンストップで解決していく未来の福祉施設「イーハトーブみらいのこども広場」建設計画を立てています。杏の会ではその構想を支援する目的として、今回、「家族・学校問題から見た未来の子どもの福祉」をテーマに各分野の専門家を招いて公開シンポジウムを開催することにしました。その詳細は同封のシンポジウム・パンフレットをご覧ください。

参加は登録制の為、参加申込用紙へご記入のうえ、ファックス(019-662-5695)かメール、申込用紙に記載のQRコードにアクセスして申し込み下さい。

編集後記

猛暑と豪雨の夏となり、地球規模での気候変動が心配されています。こうした中、去る7月30日、31日の両日は好天となり3年ぶりに第50回松園夏まつりが開催されました。

30日にはことりさわ学園の子ども達が「中館太鼓」に続いてみどり学園の子ども達が「野岳太鼓」を勇壮に演奏しました。その音はコロナ禍の暗雲を吹き飛ばすかのような響きで、観客から大きな拍手をいただきました。

このように園の子ども達が地域の行事に参加するだけでなく、収穫祭や学園祭には松園全域に案内をしています。

このような愛児会の方針が、理解され広まるような会報作りが出来ればと思っています。

(武田)